

小学校国語科学習指導案

日 時 令和4年11月15日(火) 5校時

児 童 天塩町立天塩小学校 第6学年 20名

指導者 坂本 千恵 教諭

1 単元名 物語の魅力を見つけて書こう ～きつねの窓～

2 単元の目標

- ・思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすることができる。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。 **【知識・技能】 (1) オ**
- ・人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。 **【思考力・判断力・表現力等】 C (1) エ**
- ・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。 **【思考力・判断力・表現力等】 C (1) オ**
- ・言葉がもつよさを認識するとともに進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとすることができる。 **【主体的に学習に取り組む態度】**

3 単元で取り上げる言語活動

『きつねの窓』の魅力が伝わる書評を書く。(関連：思考力・判断力・表現力等) C (2) ア)

4 単元の評価規準 (具体的な内容のまとまりごとの評価規準)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。	①「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。 ②「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。	①言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して、思いや考えを伝え合おうとしている。

5 教材について

教材文「きつねの窓」は「日常(現実)世界」と「不思議な(非現実)世界」を行き来する「ファンタジー」の構造をもった物語である。中心人物である「ぼく」は、非現実の世界でききょうで青く染めた指で窓をつくると、「自分の過去の大切な記憶に基づいた世界が見られる」という不思議な「窓」を子ぎつねから見せられる。「ぼく」は、その窓に魅了され、猟師にとって大切な銃と引き換えに自分の指を染めてもらうが、現実の世界に戻ってくると、うっかりして自分の指を洗ってしまい、「窓」を失ってしまう。その後、もう二度と子ぎつねに会うことは叶わないのである。

一般的に、非現実世界を通して中心人物の生き方に変化が見られるのがファンタジーの大まかな特徴である。本単元では、学習指導要領と本教材の特徴を照らし合わせ、本教材の〈「ファンタジー」の構造の面白さ〉〈中心人物の人物像〉〈非現実世界で手に入れた「窓」が物語に与える影響(役割)〉を「3つの魅力」とし、これらに注目しながら、人物像や物語の全体像を具体的に想像させたり表現の効果を考えたりすることを通して、目標の達成に迫りたい。

また、言語活動については、本教材で学んだ3つの魅力を中心に、本教材を共通図書として書評を書く言語活動を行う。設定理由としては、後述する通り書くことに苦手意識をもっている児童が一定数いることから、次単元「書評を書いて話し合おう」に向けた学びの準備として位置付けることで、文章を通して学んだことや感じたことなどといった自分の考えをまとめる力を高めるとともに、書評を書く力も高めるという相乗効果が見込めると考えたためである。

6 児童の実態

本学級の児童は明るく活発である。最高学年として様々な教育活動に取り組むことを通して、友達と協力したり、自分のやるべきことに責任をもって取り組んだりすることができるようになってきた。

学習に対する意欲や学習内容の定着には個人差があるが、友達と協働的に学習を進める機会を多く設定し、互いに教え合ったり、調べた内容を共有し合ったりする活動を通して、学ぶことの楽しさを感じながら学習理解を深められるような授業づくりを心がけている。ICT 機器（タブレット端末）の活用については、ほとんどの児童が操作に慣れており、日常的にインターネット検索で調べ学習をしたり、AI ドリルで既習事項の復習を行ったりしている。授業中は Microsoft Teams のチャット機能を活用してノートの写真を友達と共有したり、文書作成ソフト（Word）やプレゼンテーションソフト（PowerPoint）で共同編集をしてグループごとに考えをまとめたりしている。

国語科の「読むこと」においては、日常的な読書経験が少ないこともあり、文章の内容理解には時間がかかるが、文章に線を引くなどさせて叙述に着目させながら学習を進めることで、文章の内容を理解したり、文章中から根拠を見つけて自分の考えをもったりすることができるようになってきた。「書くこと」においては、課題を理解して進んで書き進められる児童がいる反面、多くの児童が苦手意識をもっており、書き始めるのに時間がかかる。そのため、毎時間の学習の中で単元のゴール（言語活動）を常に意識させるとともに、「書くこと」の指導をする際は、一斉指導の中で書き方の型をある程度提示し、スムーズに学習に取り組むことができるよう心がけている。

そこで、本単元では『きつねの窓』の書評を書くという言語活動を設定する。物語の魅力を読み取り、書評を書く活動を通して語彙を豊かにするとともに、「読むこと」「書くこと」双方の力を高めていきたい。また、書評を書く活動を次単元「書評を書いて話し合おう」につなげ、自分の好きな図書を選び、紹介することで読書習慣の素地としたい。

7 研究の視点との関わり

(1) 視点1 個別最適な学び

- ①教師の丁寧な見取り（指導と評価の一体化）
- ②学習計画（学習の見通し）
- ③知識・技能の確実な習得（習得）
- ④思考力・判断力・表現力等の育成に向けた知識・技能の活用（活用）
- ⑤学びに向かう力・人間性等の涵養に向けた探求的な学び（探究）
- ⑥自身の変容や成長の自覚（学習の振り返り）
- ⑦自己のキャリアとのつながり（キャリア形成）

① 教科書やノート、タブレット端末等を使って自分の考えを表現する活動を設定することで、児童の学習状況を適切に把握していく。また、児童が本時のゴールを理解して学習に取り組んだり、客観的に自己の学習状況を把握したりすることができるよう、ルーブリックを提示して児童と共有し、指導と評価の一体化を図る。併せて、ルーブリックに照らし合わせながら学習につまずいている児童の様子を教師が見取り、適宜指導することで、全員が本時のゴールを達成できるようにする。

- ② 単元の初めに、次単元を含めた本単元の言語活動や進め方の大まかな見通し、単元を通して身に付ける資質・能力を単元の評価規準を共有しながら全体で確認する。その際、「書評とは本や作品を他の読者に紹介するための文章であること」「書評を書くためには物語の魅力を伝える必要があること」「物語の魅力を伝えるには、物語のあらすじだけではなく、登場人物の人物像や表現の効果などに着目して読む力を高める必要があること」といった形で、本単元を通してどのような力を身に付けてほしいのかが児童に伝わるよう具体的に確認する。その上で教材文を通読することで、本単元では書評を書くために物語の魅力を読み取る必要があること、その魅力とは、〈「ファンタジー」の構造の面白さ〉〈中心人物の人物像〉〈非現実世界で手に入れた「窓」が物語に与える影響（役割）〉の3つであることを児童に気付かせる。その後、児童から出された案を基に学習計画を立てさせることで、主体的に学習を進めようとする態度の育成を目指す。
- ③ 本単元で身に付ける知識及び技能は「思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと」である。そこで、国語辞典やインターネットを使って適宜調べさせた言葉の意味を、クラウド上の「マイ国語辞典」に記録させる。その上で、蓄積した語句を活用して書評を書くよう指導する。また、グループ交流でお互いの考えを共有する中で、語感や言葉の使われ方・使い方を意識させることで、語彙を豊かにしていく。書評を書く際も、自分の伝えたいことを表現するために適切な言葉は何かを、「マイ国語辞典」の記録や友達と考えを共有した際に出てきた語句の中から吟味させて使わせることで、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識させ、さらに語彙を豊かにしていく。教師の見取りの中で理解が不十分だと思われる児童については、教師が語句の意味を教えたり、重点的に指導を行ったりしながら、確実に知識・技能を習得できるよう寄り添っていく。
- ④ 本単元で身に付ける思考力、判断力、表現力等は、「人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること」「文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること」である。そこで、2～5時間目には、叙述を基に人物像や物語の全体像を想像して読み、『きつねの窓』の3つの魅力をキーワードで表す活動を設定する。中心人物の言動や様子から人物像を想像したり、ファンタジーの構成を考えながら物語の全体像を捉えたりするだけではなく、比喩表現や色による表現の効果など、物語がもつ世界観も感じさせながら、読みを深めさせていく。また、6・7時間目には、『きつねの窓』の書評を書く活動を設定する。単に学んだことを活用して書評を書くのではなく、物語の魅力を伝えるためにどのような語句や表現を使うとよいのかを考え、友達と共有する中で自分の考えと照らし合わせて吟味し、自分の考えを確固たるものにしていくことで、物語を読んで感じた自分の考えをまとめる力を育む。
- ⑤ 単元の最後に『きつねの窓』の書評を書いた後、次単元「書評を書いて話し合おう」では、本校の1・2年生におすすめしたい図書の書評を書く活動を行う。本単元で学習したことを活用し、自分が選んだおすすめしたい図書の書評を書くという見通しをもたせることで、主体的に学習に取り組む態度を養うとともに、下級生に伝わる書評を意識して書かせることで、本単元での自らの学びを還元できる喜びを感じられるようにする。
- ⑥ 毎時間の導入で本時の課題やループリックを確認する機会を保障し、終末では本時の学習をまとめたり振り返ったりする場面を設定することで、学習の成果を実感させる。また、単元を通じた自身の成長を自覚させるために、単元の初めに初発の感想とともに書評を書くために使いそうなキーワードを考えさせ、単元の最後に書いた書評と比べさせることで、自身の成長を自覚できるようにする。

- ⑦ 単元の最後に単元全体の自己の取組を振り返り、次單元「書評を書いて話し合おう」で意識したいことや挑戦したいことを考えさせ、学習に対する意欲付けを図る。また、語感や物語の魅力を感じながら物語を読み進めることで読書の面白さを実感させ、読書への意欲付けを図り、読書習慣の素地とするとともに、日常における自分の考えを伝える場面での活用へとつなげていきたい。

(2) 視点2 協働的な学び

- ①教師の生徒へのかかわり（子供たちを支える伴走者としての教師の役割）
- ②学び合いによる考えの広がりや深まり（学習の成果の共有）
- ③課題解決に向けた協働的な学び（最適解・納得解を導き出す協働的な学び）
- ④学校の特色に応じた活動（地域の資源を生かした体験活動や異年齢間の共有）

- ① 毎時間の学習が単元の言語活動にどのように生かされるのかを常に意識させることで、児童が主体的に学習に取り組むことができるよう促す。また、主体的・協働的に学習に取り組むことができるよう、ICTを活用して以下のような学習場面を設定する。

- ・語彙を豊かにするための検索機能の活用
- ・よりたくさんの意見に触れるためのチャット機能を活用した情報共有やプレゼンテーションソフトを活用した共同編集
- ・文書作成ソフトを使っての書評を書く活動とその共有

これらの学習活動の中で、児童に見られる気付きやつまづきを丁寧に見取りながら、必要に応じて語彙の意味を説明し理解させたり、言葉の使われ方がどのような効果をもたらすかなどといったことを考えさせたりしながら、それぞれの児童に適切な支援・指導を行っていききたい。また、ICTの活用が難しい児童については、文書作成ソフトを使わずにノートに書いてもよいことにするなど、自分の取り組みやすい方法で取り組むよう指導していく。

- ② 単元を通して、それぞれの考えをグループや学級全体で共有する活動を設定する。各自が深めた学習の成果を持ち寄って共有することで、自分の考えを広げたり深めたりすることはもとより、物事を多面的・多角的に考えようとする態度へとつなげていく。

- ③ 毎時間、児童同士で考えを共有し合う活動を取り入れ、自身の考えを深めさせる。特に単元の2～5時間目に行う、書評を書くためのキーワードを考える活動では、個人思考で考えたことをグループごとに共有し、グループとしての考えをまとめさせる活動を通して語彙にこだわらせることで、語彙を豊かにしたり、物語の内容理解を深めたりする。さらにそれらを学級全体で共有した上で、書評を書くために使えるようなキーワードをそれぞれが考えることで、協働的な学びを通じた課題解決を図りたい。

- ④ 次單元「書評を書いて話し合おう」で、冬休みの図書貸し出しに向けて1・2年生におすすめしたい図書の書評を書く学習活動を設定する。「自分の書評を基に本を手にとってもらう」という意識をもたせることで、学習意欲の向上を図るとともに、自身の学習の成果が下級生へと還元される経験を通して、自己肯定感の育成を目指したい。

8 単元の指導計画（8時間）

（1）児童の学習計画

	時数	育成を目指す資質・能力	主な学習内容および学習活動 [] 学習形態 [] 課題 [] まとめ 【 】 他教科との関わり	■ 評価規準 () 評価方法 【 】 研究の視点	ICT の活用
計画	1	知識・技能 言語能力 ①②③④⑤ ⑥⑧⑨⑩ 問題発見・ 解決能力 ①②③④	1 書評について学び、単元のゴールを確認する。 [協] ・書評とは「本や作品を他の読者に紹介する文章」であることを確認する。 ・冬休みの図書貸し出しに向けて、低学年におすすめしたい図書の書評を書くという見通しをもつ。 ・書評を書くためには物語の話のあらすじや印象に残ったところ（魅力）を伝える必要があること、物語の魅力伝えるには、物語のあらすじに加え、登場人物の人物像や表現の効果などに着目して読む力を高める必要があることをおさえる。 2 単元の目標や評価基準（ルーブリック）を確認する。[協] <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 【単元で取り上げる言語活動】 『きつねの窓』の魅力伝える書評を書こう。 </div> 3 物語を通読し、内容を把握する。[協] ・わからない言葉に印をつけながら読み進め、通読後に調べてマイ国語辞典に追加する。 4 登場人物や中心人物について確認する。[協] 5 初発の感想を書く。[個] 6 現段階で書評を書くときに使えるようなキーワードを考え、全体で共有する。[個] [協] 7 学習計画を立て、学習の流れを確認する。[協] <div style="text-align: right;"> 【国語との関わり①③】 【特別活動との関わり①】 </div>	■ 主① (発言、ノート) ■ 知① (発言、ノート) 【視点1 ①②⑥】 【視点2 ①④】	<div style="text-align: center;">  </div> <p>B2 調査活動 語彙を豊かにするためにインターネットの検索機能を使って、語句の意味を調べる。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>C1 発表や話し合いよりたくさんの意見に触れるために、チャット機能を使って情報を共有する。 <small>育成を目指す情報活用能力</small> ①②③④⑤</p>

<p>習得・活用</p>	<p>1</p> <p>知識・技能 思考・判断・ 表現</p> <p>言語能力 ①②③④⑤ ⑥⑦⑧⑨⑩</p> <p>問題発見・ 解決能力 ③④⑤⑥</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>「ファンタジー」の構成を知ろう。</p> </div> <p>1 ファンタジーの構成について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現実世界と非現実世界を行き来する構成を「ファンタジー」と呼ぶこと、ファンタジーには入口と出口があること、ファンタジー要素をもつ物語では中心人物が非現実世界を通して変容することが多いことをおさえる。[協] <p>2 ファンタジーの入口と出口はどこになるか考える。[個][協]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人で考える、友達と一緒に考えるなど、自分の学びやすい方法で考えさせる。 ・わからない言葉は適宜調べ、マイ国語辞典に追加する。 <p>3 グループで共有し、グループとしての考えをまとめる。[協]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションソフトの共同編集機能を使って、グループとしての考えをまとめる。 <p>4 学級全体で共有し、ファンタジーの入口と出口を確認する。[協]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションソフトを使ってグループごとの考えを学級全体で共有する。 ・「ふと、空がとてもまぶしいと思いました。」「まるで、みがき上げられた青いガラスのように…」など、表現の効果にも触れる。 <p>5 本時の学習の中で、書評を書くときに使えるようなキーワードを考えてノートに書き、全体で共有する。[個][協]</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p># ファンタジー # 非現実世界 # 入口と出口 # 道 # 青いガラス玉 など</p> </div> <p>6 本時の学習を振り返る。[個]</p> <p>7 「ぼく」は非現実世界を通して変容が見られるか予想し、次時の学習への見通しをもつ。[協]</p> <p style="text-align: right;">【国語との関わり①】 【道徳との関わり①②③】</p>	<p>■知① (発言、ノート)</p> <p>■思① (ノート)</p> <p>【視点1③④⑥】 【視点2①②③】</p>	 <p>B2 調査活動 語彙を豊かにするためにインターネットの検索機能を使って、語句の意味を調べる。</p>  <p>C2 協働での意見整理 C3 協働制作 よりたくさんの意見に触れるために、プレゼンテーションソフトを使って共同編集を行い、グループの意見を整理したり、情報を共有したりする。</p> <p>育成を目指す情報活用能力 ①②③④⑤</p>
<p>習得・活用</p>	<p>2</p> <p>知識・技能 思考・判断・ 表現</p> <p>言語能力 ①②③④⑤</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>「ぼく」の人物像を読み取ろう。</p> </div> <p>1 「ぼく」の人物像がわかる文(行動や会話)を全文から見付け、線を引く。[個]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人で考える、友達と一緒に考えるなど、自分の学びやすい方法で考えさせる。 	<p>■知① (発言、ノート)</p> <p>■思① (教科書、ノート)</p> <p>【視点1③④⑥】 【視点2①②③】</p>	 <p>B2 調査活動 語彙を豊かにす</p>

	<p>⑥⑦⑧⑨⑩ 問題発見・ 解決能力 ③④⑤⑥</p>	<p>2 線を引いたところから想像した「ぼく」の人物像をキーワードに表す。[個] ・一人で考える、友達と一緒に考えるなど、自分の学びやすい方法で考えさせる。 ・わからない言葉は適宜調べ、マイ国語辞典に追加する。</p> <p>3 「ぼく」の人物像をグループで共有し、グループとしての考えをまとめる。[協] ・プレゼンテーションソフトの共同編集機能を使って、グループとしての考えをまとめる。</p> <p>4 学級全体で共有し、「ぼく」の人物像を確認する。[協] ・プレゼンテーションソフトを使ってグループごとの考えを学級全体で共有する。 ・「とうんでもない。」と「とんでもない」の違いや、「鉄砲？そりゃちょっと……。」の「……」に隠された言葉を考えさせるなどして、表現の効果にも触れる。 ・人物像を表す言葉と心情を表す言葉が混同している場合は、その違いを明確にする。</p> <p>5 本時の学習の中で、書評を書くときに使えるようなキーワードを考えてノートに書き、全体で共有する。[個][協]</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p># 猟師 # 独りぼっち # ずるがしこい # 疑い深い # 子ぎつねに共感 など</p> </div> <p>6 本時の学習を振り返る。[個]</p> <p>7 「ぼく」の心情が非現実世界を通して変化したことに気付かせ、そのきっかけが「窓」であることをおさえ、「窓」が物語にどのような影響を与えているのかを予想し、次時の学習への見通しをもつ。[協]</p> <p style="text-align: right;">【国語との関わり①】 【道徳との関わり①②③】</p>	<p>るためにインターネットの検索機能を使って、語句の意味を調べる。</p>  <p>C2 協働での意見整理 C3 協働制作</p> <p>よりたくさんの意見に触れるために、プレゼンテーションソフトを使って共同編集を行い、グループの意見を整理したり、情報を共有したりする。</p> <p>育成を目指す情報活用能力 ①②③④⑤</p>
--	--	---	---

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">習得・活用 (本時)</p>	<p>1 知識・技能 思考・判断・ 表現</p> <p>言語能力 ①②③④⑤ ⑥⑦⑧⑨⑩</p> <p>問題発見・ 解決能力 ③④⑤⑥</p>	<p>1 前時の学習を振り返り、「ぼく」の心情が「窓」によって変化したことを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">「窓」の役割を考えよう。</div> <p>2 窓から見えたものは何か整理し、見えるものの共通点を考える。[協]</p> <p>3 「ぼく」が窓を手に入れたときと、失ったときの心情を考える。[個]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人で考える、友達と一緒に考えるなど、自分の学びやすい方法で考えさせる。 ・わからない言葉は適宜調べ、マイ国語辞典に追加する。 <p>4 グループで共有し、グループとしての考えをまとめる。[協]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションソフトの共同編集機能を使って、グループとしての考えをまとめる。 <p>5 学級全体で共有し、「窓」にはどんな役割があるのか考える。[協]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションソフトを使ってグループごとの考えを学級全体で共有する。 ・「ぼくは、すっかり感激して、何度もうなずきました。」「もらったなめこを食べるのも忘れて」といった表現にも着目させる。 <p>6 本時の学習の中で、書評を書くときに使えるようなキーワードを考えてノートに書き、全体で共有する。[個][協]</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> # 今はもうなくなったもの # 自分が大切にしていたもの # 「ぼく」の気持ちを変化させたもの など </div> <p>7 本時の学習を振り返る。[個]</p> <p style="text-align: right;">【国語との関わり①】 【道徳との関わり①②③】</p> <p>8 次時の見通しをもつ。</p>	<p>■知① (発言、ノート)</p> <p>■思① (ノート)</p> <p>【視点1③④⑥】 【視点2①②③】</p>	 <p>B2 調査活動 語彙を豊かにするためにインターネットの検索機能を使って、語句の意味を調べる。</p>  <p>C2 協働での意見整理 C3 協働制作 よりたくさんの意見に触れるために、プレゼンテーションソフトやチャット機能を使って共同編集を行い、グループの意見を整理したり、情報を共有したりする。 育成を目指す情報活用能力 ①②③④⑤</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">活用</p>	<p>1 知識・技能 思考・判断・ 表現</p> <p>言語能力 ①②③④⑤ ⑥⑦⑧⑨⑩</p> <p>問題発見・ 解決能力 ③④⑤⑥</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">書評を書くためのキーワードを整理しよう。</div> <p>1 これまで書いてきたキーワードを確認する。[協]</p> <p>2 自分が書評を書くときに活用したいキーワードを洗い出す。[個]</p> <p>3 友達と共有し、活用するキーワードを整理する。[協]</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> # 「ぼく」 # 子ぎつね # ファンタジー # 子ぎつねに対する心情の変化 # 窓 # 今はもうないもの など </div>	<p>■知① (発言、ノート)</p> <p>■思② (ノート)</p> <p>【視点1③④⑤⑥】 【視点2①②】</p>	 <p>C2 協働での意見整理 C3 協働制作 よりたくさんの意見に触れるために、プレゼンテーションソフトを使って共同編集を行い、グループの意見を整理したり、情</p>

		<p>4 学級全体で共有する。[協]</p> <p>5 本時の学習を振り返る。[個]</p> <p>【国語との関わり①②③】</p> <p>【道徳との関わり①②③】</p>		<p>報を共有したりする。</p> <p>育成を目指す情報活用能力 ②③④⑤</p>	
活用	1	<p>知識・技能 思考・判断・ 表現</p> <p>言語能力 ①②③④⑤ ⑥⑦⑧⑨⑩</p> <p>問題発見・ 解決能力 ③④⑤⑥</p>	<p>『きつねの窓』の魅力を伝える書評を書こう。</p> <p>1 前時で整理したキーワードをもとに、文書作成ソフトを使って書評を書く。[個]</p> <p>2 本時の学習を振り返る。[個]</p> <p>【国語との関わり①②③④】</p> <p>【道徳との関わり①②③】</p>	<p>■知① (ワークシート)</p> <p>■思② (ワークシート)</p> <p>【視点1③④⑤⑥】</p> <p>【視点2①】</p>	 <p>学習内容を振り返り、活用するために、これまで作成してきたプレゼンテーションソフトから必要な情報を選択し、文書作成ソフトを使って書評を書く。</p> <p>育成を目指す情報活用能力 ②③④⑤</p>
自覚	1	<p>知識・技能 思考・判断・ 表現</p> <p>言語能力 ①②③④⑤ ⑥⑦⑧⑨⑩</p> <p>問題発見・ 解決能力 ③④⑤⑥</p>	<p>書評を読み合い、感想を伝え合おう。</p> <p>1 友達の書評を読み、付箋紙に感想を書く。[個] [協]</p> <p>2 友達からもらった感想を読んだり、単元の最初に書いた自分の書評と比べてたりしながら、自分の書評を振り返る。[個]</p> <p>3 本単元の学習を通してどんな力がついたのかを共有する。[協]</p> <p>・「叙述から物語の全体像をとらえることができるようになった」「語感や表現の効果を意識して読むことができるようになった」など、これまでの学習でどんな力が身に付いたのかを考えさせる。</p> <p>・本単元で身に付いた力が、他教科の学習や日常生活でも生かすことができることに気付かせる。</p> <p>4 単元の学習を振り返り、次単元の見通しをもつ。[個]</p> <p>【国語との関わり①⑤】</p> <p>【道徳との関わり①②③④】</p> <p>【特別活動との関わり①】</p>	<p>■知① (ノート、ワークシート)</p> <p>■思② (ノート、ワークシート)</p> <p>■主① (振り返りの記述)</p> <p>【視点1⑤⑥⑦】</p> <p>【視点2②③④】</p>	 <p>C1 発表や話し合いよりたくさんの意見に触れるために、チャット機能を使って情報を共有する。</p> <p>育成を目指す情報活用能力 ②③④⑤</p>
～以下の学習活動は次単元「書評を書いて話し合おう」で行う～					
探究		<p>1・2年生におすすめしたい本の書評を書こう。</p> <p>1 あらかじめ選んだ本の魅力を考える。[個]</p> <p>2 本の魅力を伝えるためのキーワードを洗い出し、整理する。[個]</p> <p>3 書評を書く。[個]</p> <p>4 共有し、感想を伝え合う。[協]</p> <p>5 図書室前に掲示する。[協]</p>			

(2) 教科等横断的な学習

	言語能力	情報活用能力	問題発見・解決能力
知識・技能		① 情報と情報技術を適切に活用するための知識と技能	
思考・判断・表現	① 情報を多面的・多角的に精査し構造化する力 ② 言葉によって感じたり想像したりする力 ③ 感情や想像を言葉にする力 ④ 言葉を通じて伝え合う力 ⑤ 考えを形成し、深める力	② 問題解決・探究における情報を活用する力 ③ 必要な情報の収集・判断・表現・処理・創造 ④ 課題や目的に応じた情報手段の適切な活用	① 物事から問題を見いだす力 ② 問題を定義する力 ③ 問題の解決の方向性を決定する力 ④ 解決方法を探して、計画を立てる力 ⑤ 結果を予測しながら実行する力 ⑥ 過程を振り返って次の問題発見・解決につなげていく力
学びに向かう力・人間性等	⑥ 言葉を通じて自分のものの見方・考え方を広げようとする態度 ⑦ 集団としての考えを発展・深化させようとする態度 ⑧ 体験したことや感じたことを言葉にしたり、それらを共有させたりしながら心を豊かにしようとする態度 ⑨ 互いの存在についての理解を深め、尊重しようとする態度 ⑩ 言語文化の担い手としての自覚	⑤ 問題解決・探究における情報活用の態度	

(3) 関連する各教科の資質・能力

国語	社会	算数	理科	音楽	図画工作	家庭	体育
①話すこと・聞くこと(1)オ 互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。 ②書くこと(1)ア 目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関連付けたりして、伝えたいことを明確にすること。 ③書くこと(1)ウ 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見を区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 ④書くこと(1)オ 文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること。 ⑤書くこと(1)カ 文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。							
外国語	道徳				総合的な学習の時間	特別活動	
	①希望と勇気、努力と強い意志 より高い目標を立て、希望と勇気を持ち、困難があってもくじけずに努力して物事をやり抜くこと。 ②友情、信頼 友達とたがいに信頼し、学び合って友情を深め、異性についても理解しながら、人間関係を築いていくこと。 ③相互理解、寛容 自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重すること。 ④よりよい学校生活、集団生活の充実 先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合ってよりよい学級や学校をつくるとともに、様々な集団の中での自分の役割を自覚して集団生活の充実に努めること。					①学校図書館の利用	

9 本時の実際

(1) 本時の目標

- ・ 叙述から「窓」が物語に与える役割を考えて物語の全体像を想像し、自分の考えをまとめることができる。

【思考力、判断力、表現力等】

(2) ルーブリック（評価基準）

評価基準	児童の学習状況
◎「十分満足できる」状況	「ぼく」の心情や文章中の表現を基に「窓」の役割について考え、物語の全体像を想像し、友達と共有した考えも踏まえながらノートに自分の考えをまとめることができる。
○「おおむね満足できる」状況	「ぼく」の心情や文章中の表現を基に「窓」の役割について考え、物語の全体像を想像し、ノートに自分の考えをまとめることができる。
△「おおむね満足できる」状況にするための手立て	グループの話し合いの中で共感できる考えを見つけさせ、ノートに自分の考えを書かせる。

(3) 本時の展開（5／8）

過程 (分)	○主な学習活動【 】活動形態 ・予想される生徒の発言等	◇教師の主な働きかけ *留意点	■評価規準（ ）評価方法 【 】研究の視点 ▲努力を要する児童への手立て
導入 (5分)	○前時の学習を振り返る。 ○学習課題を設定する。 「窓」の役割を考えよう。 ○ルーブリックを提示し、本時の学習の見通しをもつ。	◇「ぼく」の心情が、非現実世界で手に入れた「窓」を通して変化したことを想起させる。 ◇ルーブリックを確認し、本時の学習の見通しをもたせる。	【視点（2）①】
展開 (35分)	○窓から見えたものは何か整理する。[協] ・子ぎつね →亡くなった母ぎつね ・ぼく →二度と会えない女の子 すでになくなった昔の家 ○窓から見えるものの共通点を考える。[協] ・今はもうなくなったもの ・自分が大切にしていたもの ・もう一度見たいと思ったもの	*登場人物によって、窓から見えたものは異なることを確認する。 ◇語彙を豊かにするために、わからない言葉はインターネットの検索機能を使って、語句の意味を調べさせる。 	【視点（1）③④】 ▲文章中の叙述に着目させ、窓から見えるものは、今はもうなくなったものであることに気付かせる。

○「ぼく」が窓を手に入れる前と、手に入れた後の心情を考える。[個]

○グループで共有し、グループとしての考えをまとめる。[協]

○グループとしての考えを学級全体で共有し、「窓」にはどんな役割があるのか考える。[協]

- ・はじめは子ぎつねをしとめようとしていたが、窓を手に入れたことで、その気持ちはなくなった。
- ・子ぎつねと会うまでは独りぼっちだったが、窓を手に入れたことで、独りぼっちではなくなった。

○本時の学習の中で、書評を書くときに使えるようなキーワードを考え、共有する。[個][協]

今はもうなくなったもの
自分が大切にしていたもの
「ぼく」の気持ちを変化させたもの

◇一人で考える、友達と一緒に考えるなど、自分の学びやすい方法で考えさせる。

◇グループでの共有に向けて、プレゼンテーションソフトに入力させる。

◇プレゼンテーションソフトを使って共同編集を行い、グループの意見を整理させる。



◇プレゼンテーションソフトに整理したことを基に、グループごとにまとめた考えを発表させ、情報を共有する。



* 「ぼくは、すっかり感激して、**何度もうなず**きました。」「もらったなめこを食べるのも忘れて」といった表現にも着目させる。

* 題名にも入っている「窓」が、物語において「ぼく」の心情を変化させたことに気付かせる。

◇ノートに書いた自分の考えを写真で撮影し、チャット機能を活用して共有させ、自由に友達と考えを共有できるようにする。



▲前時の学習を想起させ、「窓」を手に入れる前後で「ぼく」の心情はどのように変化したのかを考えるよう促す。

【視点（2）②③】

【視点（2）②③】

【視点（1）③④】

【視点（2）②③】

■「窓」の効果について、叙述を基に想像したり、友達の考えを参考にしたりしながら、自分の考えをまとめている。（ノート）

<p>終末 (5分)</p>	<p>○本時の学習を振り返る。[個]</p> <p>○次時の見通しをもつ。[協]</p>	<p>◇クラウド上に本時の振り返りを入力させる。</p> <p>◇これまでの学習で考えてきた、書評を書くときに使えるようなキーワードを整理する見通しをもたせる。</p>	<p>【視点（1）⑥】</p>
--------------------	--	--	------------------------